

第84回藤野地区まちづくり会議全体会開催結果

- 日 時 令和4年4月21日（木）午後7時～午後9時30分
- 場 所 藤野総合事務所4階会議室
- 出席委員数 15名出席（7名欠席）
- 傍 聴 者 0名

- 1 開会 小山副代表
- 2 あいさつ 宮野代表
- 3 職員紹介 藤野まちづくりセンター担当職員の紹介

4 議 事

(1) 中山間地域の持続可能な医療のあり方の検討について

相模原市医療政策課より、中山間地域における医療提供体制を確保していくため、地域の住民を対象としたアンケート調査を実施した。今後、アンケート調査の結果等を踏まえ、中山間地域の持続可能な医療のあり方に関する懇話会での検討等のプロセスを経て、令和4年度末に「中山間地域の医療の基本的な方向性」を決定したいとの説明がなされた。

また、担当者よりアンケート調査の詳細についての報告、調査結果から見えてくる課題と対応策のイメージ等の説明があり、その後質疑応答が行われた。

<主な質問・意見等> (○委員からの質問・意見、●市の回答)

○資料の中に財源の効率的な活用が記載されているが、施設を集約することによる効率化だけではなく、訪問診療の充実にも取り組んでもらいたい。

○オンライン診療が困難な高齢者への対策、電子カルテの課題は何か

●オンライン診療が難しい高齢者については、例えば、看護婦がタブレット等を持参しご自宅に伺い、看護師が操作をしながら診療所の医師とつながることができるようなことを考えている。電子カルテについては、プラットフォームが統一されていないため、ソフト間のデータのやり取りができない等の課題がある。

○訪問診療について、地域の公民館等を利用して行うことができないか。

●公民館の利用については、アンケートにも意見をいただいているが、医療法という法律の制約の中で課題もあり、今は往診に従事する医療者の数を増やしたり、往診車に搭載する機能を少し充実した中でやっていくことを検討している。

○中山間地域アンケート結果では、訪問診療の充実を不要としている者はごくわずかである。中山間地域の医療について、訪問診療を主とする方向に舵を切った方がよいのではないか。

●懇話会の委員である医師からは、訪問診療は確かに必要だが、外来診療とのバランスが大切であるとの意見も伺っている。

○中山間地域の医療等について、国でも様々な実証（ドローンによる医薬品を届ける等）を実施している。相模原市において、そういった国の予算を使って事業を実施することも必要ではないか。

●いろいろなものを活用していくことも検討していきたい。

○今後、免許を返納される高齢者が増加していく中で、通院等に必要なタクシーの助成等を審議会からも働きかけてほしい。

(2) 令和4年度地域活性化事業交付金について

令和4年度地域活性化事業交付金の申請団体のうち、3団体の代表者に出席いただき、事業の説明を受け、各事業への意見を伺った。

○団体名：日連美花会

事業名：日連・青田地区環境整備

<まちづくり会議からの意見>

・今年度で交付金の交付が終了となるが、事業内容は大変素晴らしいもので、来年度以降もぜひ活動は続けてもらえるよう頑張っていたきたい。

○団体名：山シビレ研究所

事業名：地域のフリーペーパー「里山へっず」の発行

<まちづくり会議からの意見>

・藤野地区は陣馬山へのハイカーをはじめ観光客が多くお越しになる。その方々が心地よく過ごしていただくためにも、地域のみなさんが、たばこのポイ捨てや環境美化について考えてもらえるよう、少しでも紙面を割いてもらいたい。

・地域の様々な活動している団体等も取り上げてもらいたい。

・藤野の内容をもう少し多くしてほしい。

・今後も継続できる方策をぜひ考えてほしい。

○団体名：地産ガチャ

事業名：地産ガチャ

<まちづくり会議からの意見>

・地域の介護施設と連携しガチャの製作を行うなど、今後も事業の継続に向けて努力してほしい。

このほか、申請にあたって、まちづくり会議の意見を聴くことに対して、会議での決定の可否や意見の反映等について質問等があり、事務局から説明を行った。

4 その他

まちづくり会議委員のうち、今回の会議で退任となる委員の紹介並びに退任のあいさつがなされた。

5 閉会 加藤副代表

以 上